

日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 40 2020/10/4



- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp

あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
 奏樂者 金戊京姉  
 礼拝当番(下) 田中直美姉  
 音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	ヨハネ4:23-24	新 p.183
*讃美	教会福音讃美歌106番	
*交読	詩篇64篇	旧 p.996
*信仰告白	教会信仰告白 第3条	
*開禱		司会者
*讃美	教会福音讃美歌-番	
祈り		松村 識師
聖書	マルコ16:12-14	新 p.105
黙想		
宣教	「頑なな心の私たち」	松村 識師
聖餐式	教会福音讃美歌 261(1-3) 番	
讃美	教会福音讃美歌 聖餐式261(4-6) 番	
感謝		
献金	教会福音讃美歌 453 (1-3) 番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 268番	
*祝禱		松村 識師
*後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

- 1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、しばらく続きますが、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。
- 2. 本日は第一主日ですので、聖餐式をしました。主の恵みを新たに歩みましょう。
- 3. 本日は午後より役員会を致します。
- 4. 10/18 (日)、教会連合の全国青年大会DAWN2021のプレ大会がオンラインで行われます。40歳未満の方は既婚・未婚などを問わず誰でも参加できますので、ぜひご参加ください。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所マルコ16:15-18、宣教題「すべての人に福音を」、交読文詩篇65篇、讃美158、-, 479、献金 453 (1-3)、頌栄 268

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	-
下	黒田創兄
掃除当番	丸山治久兄 丸山玲子姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ45章
奏楽者	渡邊周美姉
証し	-
週報印刷	渡邊恵太兄
食事当番	- -
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	鉢植え
音響・スライド	渡邊羊子姉
スライド作成	古屋直之兄

## ●今週/今後の予定

- 10/5 (月) 賛美フラ
- 10/6 (火) 教会連合広報委員会 (牧師)
- 10/11 (日) 主日祈祷会 (礼拝後)
- 10/18 (日)  
全国青年大会DAWNプレ大会
- 10/25 (日)  
大泉聖書教会修養会 (牧師)  
小川真師宣教 (リモート) 早天休止

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	2	19	-	3	1
女	3	32	-	4	1
合計	5	51	0	7	2
CS	3				
その他	主日礼拝は会堂男9、女12、CSは、zoom、ライブ配信接続 23				

## ●信じがたいよみがえり

～先週の宣教要旨～

マルコ16:8b-11

ぶつ切り切れたマルコの終わり。そこには二つの補追文が残っています。ある写本にはあって、他にないもの、その逆もあり、そして古く有力な写本にはこの補追文がない。それがゆえに、後に加えられたものであろうというのがこの箇所です。

ここにはマグダラのマリヤが登場します。マリヤは何人も出てきます。それでガリラヤの町の名前で呼ばれるのが彼女です。「彼女は、かつて七つの悪霊をイエスに追い出してもらった人である。」とあって、他にも同じようにいやしをいただいた女たちとイエスに従ってきたのです。そして、十字架・埋葬・復活の証人となりました。福音書に出てくる女たちはみな共通点を持っています。一途でひたむきな信仰、理屈よりも行動、よく仕え、よくささげます。

一方で、男たちは逮捕とともに逃げ散り、彼女のことばを聞いても信じません。男女論を論じるのは本筋とは違うかもしれませんがこの場によく表れています。神の創造のはじめ、神のデザインは男女をして人です。男は男だけでは生きられず、女は女だけで生きることはいけません。初めから両者合わさって、完成するように人を作ってくださいだったので。そして、それは「ふさわしい助け手」。それは助手ではありません。墮罪の結果、支配・被支配という関係が入り込みましたが、本来は「彼と向かい合う者としての助け手」という意味を持ちます。男でなければできないこと。女でなければできないことがあるのです。それが相い向き合って、助け合って生きるように回復をいただいているのです。

この箇所は「信じがたいよみがえり」の衝撃から始まりました。それを「信じる」に導く過程の中で女たちの証言がありました。プライドに固まった男たちは頑なです。しかし、頑なな心を打ち砕く「向き合う」恵みを、ともにいただこうではありませんか。

## ●大切ななくしもの、見つかる喜び

～今週の声～

先週、鍵をなくして捜し回り、自宅と教会の間を3往復しました。しょっちゅう捜し物ばかりしている私はいつも身に付けている「財布・鍵・携帯」の3点セットを常に確認しています。それにもかかわらずです。こういうときは、最後に見たときからの行動を思い出して順に「再現」します。まず、行動中にポツと置きそうな場所をすべてチェック。「なし」。おそらく教会を出るときに、ポケットに入れた3点セット。最後に入れた鍵はポケットに半分しか入らず、どこかに落ちた…クルマに荷物を積むために教会前にクルマを駐めた…。「ありました！」落とした鍵を拾った人がいたのでしょうか。あの祠の低いフェンスのところに。その直後、K姉がなくしものをして困り、「祈ってください」と。そして10日後、無事に発見。手を叩いて、喜び合いました。

なくしものを見つけた喜びは、スカッと沈んでいた心が晴れやかになり、もう悲しむことも、いらだつことも、後悔も、すべてが吹き飛んでしまいます。

聖書の中にも捜し物のたとえがあります。

また、ドラクマ銀貨を十枚持っている女の人が、その一枚をなくしたら、明かりをつけ、家を掃いて、見つけるまで注意深く捜さないでしょうか。見つけたら、女友だちや近所の女たちを呼び集めて、『一緒に喜んでください。なくしたドラクマ銀貨を見つけましたから』と言うでしょう。(ルカ15:8-9)

そして、続く話は放蕩息子のたとえ話です。「この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから。」(同15:24)

神のみ思いは罪ゆえに失われた人に対してずっと抱えている切なる思いです。それがゆえにひとり子さえお送りくださり、回復の時を待っておられる。そして、神のもとへ帰ったならば、大喜びで迎えてくださる。私たちは神にとって、とつても大切なさがしものなのです。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●10/5 (月) エレミヤ13章

帯のたとえを通して主はエレミヤに語りかけられます。それを通して、何を主はお語りになりましたか。

### ●10/6 (火) エレミヤ14章

語られる主のことばの前にエレミヤは必死のとりなしをします(19-22)。私たちは今の世、私たちの周りに対してどのようなとりなしの祈りをささげるべきでしょうか。

### ●10/7 (水) エレミヤ15章

厳しいさばきのことばに、エレミヤは必死のとりなしをします(15-18)。そのことばに主は耳を傾けられて、救いのことばを語ります(19-21)。神の裁きと救いについて何を学びますか。

### ●10/8 (木) エレミヤ16章

神がさばきのことばを語ったのにも関わらず、「私たちの咎とは何か・・・私たちの罪とは何か」と問うような人たちがいる。ヨナ記のニネベは熱心になって悔い改めると、主はわざわいを思い返されたとあります。これらの裁きのことばが意図していることは何でしょうか。

### ●10/9 (金) エレミヤ17章

安息日に・・・ということばの指している問いかけは、主を礼拝する「心」について語っています。イエス様の時代、形ばかり安息日を守ることに終始する律法学者に対して、イエスはそのことを問われました。あなたにとって、主を礼拝すること、主に従う「心」と、その「心」の表れはどうでしょうか。問うてみましょう。

### ●10/10 (土) エレミヤ18章

創造主なる神をなぞらえて陶器師のたとえを主は語ります。語るメッセージの中心は「もし・・・悔い改めるなら」です。私たちそれぞれ悔い改めるべき行いとわざはないで

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会(聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

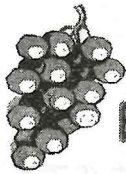
P35-36 前橋キリスト、玉村福音キリスト、大泉聖書、泉キリスト



## 今週のみことば

その後イエスは、十一人が食卓に着いているところに現れ、彼らの不信仰と頑なな心をお責めになった。よみがえられたイエスを見た人たちの言うことを、彼らが信じなかったからである。

マルコ16:14



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 43 2020/10/25

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp



あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 渡邊頌平兄  
 奏楽者 金戊京姉  
 礼拝当番 (下) 丸山治久兄  
 音響・録音 富岡稔雄兄

前奏		
招詞	ヨハネ4:23-24	新 p.183
* 讃美	教会福音讃美歌36番	
* 交読	詩篇67篇	旧 p.999
* 信仰告白	教会信仰告白 第6条	
祈り		司会者
聖書	創世記12:1-9	旧 p.17
黙想		
宣教	「行方も知れず」	小川 真師
* 讃美	教会福音讃美歌 412番	
感謝		丸山治久兄
献金	教会福音讃美歌 453 (1-3) 番	
報告		
* 頌栄	教会福音讃美歌 268番	
* 祝祷		小川 真師
* 後奏		

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、しばらく続きますが、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄姉は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は小川真師が礼拝のご奉仕をしてくださいました。小川師は春から国立キリスト教会の牧師としても奉仕を始め、来春からはK G Kの奉仕を辞して牧師専任になる予定です。

●3. 本日は午後1時より、小川師がこれまでのK G Kの働きなどの報告をzoomにてしていただきます。祈祷会をこれに振り替えます。お交わりできますので、参加ください。zoomのアドレスは別途メールにてお送りしています。

●4. 本日は第四主日ですので、JECAの諸基金への献金も致しました。祈りつつささげましょう。

●5. 本日、松村牧師は当教会で長年支援している大泉聖書教会（群馬県）で修養会の奉仕です。よき交わりのためにお祈りください。

●6. 先週主日は教会連合の全国青年大会DAWN2021のプレ大会が行われました。先週お知らせしたyoutubeにて、見ることができます。

●7. 月報10月号を発行しました。ご確認ください。

●8. 礼拝の宣教はマルコの福音書の連続講解説教が終わりました。次のテーマは「聖書の女性」で、次週はルツ、その次はエステルの予定です。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所ルツ1:15-18、宣教題「あなたの神は私の神」、交読文詩篇68:1-18、讃美20、-, 聖餐式262 (4-6)、献金453 (4-5)、頌栄 269聖餐式262 (1-3)

## ●奉仕案内（主日奉仕は次週のものです）

礼拝司会者	田中貴吏兄
礼拝当番上	-
下	佐藤逸子姉
掃除当番	大内正信兄 大内礼子姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ48章
奏楽者	渡邊羊子姉
証し	
週報印刷	石山堅持兄
食事当番	-
	-
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	菊川静恵姉
音響・スライド	金光正兄
スライド作成	古屋直之兄

## ●今週/今後の予定

- 10/28 (水)  
賛美の会
- 11/1 (日)  
聖餐式、役員会
- 11/2 (月)  
賛美フラ
- 11/15 (日)  
成長感謝礼拝

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会
男	2	19	-	3	3
女	1	34	-	4	2
合計	3	53	0	7	5
CS	4				
その他	主日礼拝は会堂1F男3、女5,2F男7、女10、CSは、zoom、ライブ配信接続22				

## ●主とともに働く

～先週の宣教要旨～

マルコ16:18-19

この箇所は主イエス様の昇天です。天は神のおられるところ。そして、地は私たちの住まうところ、それは決して隔てられているのではなく、主は御手を延べておられます。ルターは「主が近くにおられたとき、主は私たちから遠くあられた。主が私たちから遠いとき、主は私たちに近くおられる」と言いました。主が地上に留まっていたら、誰もが会うということではできないでしょう。あるいは偶像化されるでしょう。ところが、天におられるということは、いつでも、どこでも、呼べば答えてくださる。そのように近くにおられるのです。

そして、神の右の座、そこは、神と共に王としてともに治める権威の座です。「私たちの国籍は天にあり。」そして、神の国を生きることは、主の主権のもとに、信じ生きる者にはどこであっても神の国。その守りと養い、導きをいただくのです。そして、神の国の則、それは「私があなた方を愛したように、互いに愛し合う」という新しい戒めです。

主イエス様は天で、私たちのために取りなしをしていてくださいます。ローマ書の8章に、「主イエス・キリストにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません」ということばがあります。どんな苦難、苦悩、迫害、飢え…、いかなるものが襲っても、主が絶えず私たちを愛をもって神の国の王としてお守りくださる。それが天におられる主のしてくださる恵みです。

そして、これがマルコの福音書の伝える「福音のはじめ」です。そこから始まって、この福音は閉じてはいません。この後に開かれ、今に至るまで、福音が拡がり続け、主イエスの恵みに福音が満たされるように、私たちも主とともに働くように招かれています。

この福音を喜び、また、この福音を携えて出ていこうではありませんか。

## ●次の世代が育つために

～今週の声～

今年の春、私たちの教会の役員はグッと若くなりました。30代二人、40代一人、50代が私を含めて二人。そして、敬老を覚える家族礼拝で、70代以上が21名いることに少々驚きました。そして、次の世代が育って来たことに感謝をしているのです。

今日、ご奉仕をしてくださる小川真先生も「まことちゃん」と呼ばれていた大学生の1人でした。クリスチャンホームに育った若者が大学に入って甲府にやってきた。そして、金髪の髪の毛になってみたり、あれこれ、やらかしてみたり(笑)。それが、主にささげてK G Kの主事になり、神学校に学び、再びK G Kの主事として奉仕し、牧師として奉仕するようになる。そう、かくいう私も、ここで大学生の若い1人として、兄弟姉妹に世話になり、育てていただいた1人です。

そのように教会は神の家族として、次の世代の者たちを育てていく大切な使命を委ねられています。若い人や子どもがいなければ、未来はありません。もっとも、この国自体に少子高齢化の波は深く、その中に教会もありますから、ことはそれほど単純ではないのですが。小学生も5年、6年すれば、中学生。中学生が5年、6年すれば、あっという間に成人です。子どもたちが大きくなるのに待ったなしです。

今、与えられている子どもたち、若い人たちを心にかけていくことを、励まし続けて行きたいと思います。そして、未来を築く人たちのために祈り続けたいと思います。

先週青年大会DAWNのプレ大会がありました。それぞれの教会の、集まる青年たちは決して多くはありません。でも、一つ大きな交わりには「私だけじゃない」、「仲間がいるんだ」と励ましをいただきます。同世代には同世代でなければできない共感がありましよう。そのようなものを応援していきたいと思っています。そして、主にある恵みを次の世代に委ねたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●10/26 (月) エレミヤ30章

「傷はいやしくにくく、打ち傷は痛んでいる」  
というように主がいやしてくださる約束がここに語られています。人にはできないいやしを主が与えてくださる希望のことばにあなたはどのように慰めを見いだしますか。

### ●10/27 (火) エレミヤ31：1-22

「永遠の愛をもって」と言われる主の慰めの預言が続きます。あなたにとって最も慰め、希望となることばはどんな言葉ですか？

### ●10/28 (水) エレミヤ31：23-40

主の回復の約束が語られています。これが語られたとき、「私の眠りはこちよかった(26)」とエレミヤは言います。主による希望が平安をくださったからです。ここに見る希望はあなたにとって、どのような意味を持ちますか。

### ●10/29 (木) 詩篇82篇

神が地をさばく。私たちにはまるで人間の力関係で世が動いているように見えますが、神が地をさばくこと、それに希望を持ち、また、祈る者であることを求められてはいませんか？

### ●10/30 (金) 詩篇83篇

イスラエルのための祈り、それは6-8節にある敵対する周りの国々殺の救いです。あなたに敵はいますか？最後の18節の祈りにあなたが求められていることを心に留めましょう。

### ●10/31 (土) 詩篇84篇

神の大庭を慕って、待ち望む歌です。そこに入れられる光栄を仰ぎつつ、今、あなたが立っているその場所はどこなのか、すでに入れられた大庭、完成を待ち望む大庭。

### ●11/1 (日) エレミヤ32：1-25

エレミヤは買い戻しの権利のある土地をかうようにと促されそれをします。ユダが滅ぼされ、奪われるとわかっていたらしないことを主が命じられたことの意味を考えてみましょう。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお返しください。

## ●今週の祈り

P41-42 上尾キリスト福音、蓮田キリスト、白岡福音キリスト、東岩槻キリスト



## 今週のみことば

創世記12:1-2 主はアブラムに言われた。

「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。

そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福とな



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 42 2020/10/18

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp



あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
 奏楽者 志村泉兄  
 礼拝当番(下) 宮田良子姉  
 音響・録音 金光正兄

- |       |                     |         |
|-------|---------------------|---------|
| 前奏    |                     |         |
| 招詞    | ヨハネ4:23-24          | 新 p.183 |
| *讃美   | 教会福音讃美歌310番         |         |
| *交読   | 詩篇66篇               | 旧 p.998 |
| *信仰告白 | 教会信仰告白 第5条          |         |
| 祈り    |                     | 松村 識師   |
| 聖書    | マルコ16:18-19         | 新 p.105 |
| 黙想    |                     |         |
| 宣教    | 「主とともに働く」           | 松村 識師   |
| *讃美   | 教会福音讃美歌 462番        |         |
| 感謝    |                     | 宮田良子姉   |
| 献金    | 教会福音讃美歌 453 (1-3) 番 |         |
| 報告    |                     |         |
| *頌栄   | 教会福音讃美歌 268番        |         |
| *祝祷   |                     | 松村 識師   |
| *後奏   |                     |         |

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・祈り

●1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、しばらく続きますが、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄弟は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。

●2. 本日は16:00より、教会連合の全国青年大会DAWN2021のプレ大会がオンラインで行われます。40歳未満の方は既婚・未婚などを問わず誰でも参加できますので、ぜひご参加ください。youtubeの接続先は別途メールにてご案内しています。松村牧師も講師とし奉仕します。

●3. 昨日17日(土)、細田なつ子姉と片山尚哉兄の結婚式が行われました。新しい夫婦の祝福を祈りましょう。

●4. 次週主日は小川真師が礼拝のご奉仕をしていただきます。オンラインのご奉仕となりますので、早天礼拝は休止とします。小川師は春から国立キリスト教会の牧師としても奉仕を始め、来春からはK G Kの奉仕を辞して牧師専任になる予定です。これまでのK G Kの働きなどの報告を礼拝後zoomにてしていただきます。祈禱会をこれに振り替えます。お交わりできますので、参加ください。

●5. 次週主日、松村牧師は当教会で長年支援している大泉聖書教会(群馬県)で修養会の奉仕です。よき交わりのためにお祈りください。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所創世記12:1-9、宣教題「行方も知れず」、交誦文詩篇67篇、讃美36、-, 412、献金 453 (1-3)、頌栄 268

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のものです)

礼拝司会者	渡邊頌平兄
礼拝当番上	-
下	丸山治久兄
掃除当番	坂野次男兄
	坂野喜好子姉
水曜聖研	松村牧師
	イザヤ47章
奏楽者	金戊京姉
証し	
週報印刷	川久保進兄
食事当番	-
	-
看板当番	渡邊恵太兄
生花当番	鉢植え
音響・スライド	富岡稔雄兄
スライド作成	渡邊頌平兄

## ●今週/今後の予定

●10/18 (日)

全国青年大会DAWNプレ大会

●10/25 (日)

大泉聖書教会修養会(牧師)

小川真師宣教(リモート)早天休止

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈禱会
男	3	19	-	3	3
女	6	29	-	4	2
合計	9	48	0	7	5
CS	6				
その他	主日礼拝は会堂1F男3、女2,2F男7、女8、CSは、zoom、ライブ配信接続19				

## ●すべての人に福音を

～先週の宣教要旨～

マルコ16:15-18

復活の主イエス様が弟子たちに命じたのは「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。」(15)という命令でした。それは弟子たちにしてみれば、いままで考えられもしなかったスケールのことです。すべての造られた者と言われても、様々な壁がありました。ユダヤ人と異邦人、奴隷と自由人、男と女…。それを乗り越えて「すべての人の主」となられたのです。

「信じてバプテスマを受ける者は救われます。しかし、信じない者は罪に定められます。」(16)ということばは、この宣教命令と一緒に語られています。それは、この使命が弟子たちに、そして、私たちに委ねられているということです。ペテロが信仰告白をしたとき(ヨハネ16章)、彼に「御国の鍵」を与えられました。それは、イエス様の十字架の贖いとよみがえりの勝利によってすべての罪が赦され救われるという恵みです。その鍵をもって福音を伝えるのです。

続いて、主は信じる者に伴うしるしを約束されました。使徒の働きを見ると、そのようしるしが与えられたことが出てきます。一つこの「蛇をもつかみ」というのがよくわかりません。聖書の中の蛇を調べて見ると、それはアダムとエバを惑わした蛇から始まって、人を惑わすサタン、悪魔の象徴です。それはやがて滅ぼされることが黙示録の中に出てきます。つまり、すべての神のよきものに逆らい、人を惑わす力に対する勝利を意味します。十字架と復活はそれらの暗闇の力の対する勝利です。

すべてに勝利した主イエス様があなた方ともにいる。だから、恐れるものなど一つもない。そして、その勝利の主、私とともにいるのだから、勇気をもってその使命を果たせという励ましの言葉なのです。私たちにも与えられている宣教の務め、弱い私たちを用いる主にささげようではありませんか。

## ●ことを見分ける目

～今週の声～

昨日はN姉とK兄の結婚式でした。N姉はこの教会で育ち、私の結婚式の際のフラワーガールでした。その姉が結婚。感慨深いものがあります。コロナの中の結婚式、どのような形ですのかと招待をいただくと、フルーツパークの芝生広場で結婚式です。雨の場合には、あのガラスのドームの中。そして、案内には「ピクニック・ウェディング」と書いてあります。

服装は「公園にピクニックに行くような服装(ジーンズ、Tシャツ、スニーカー等)、持ち物にはレジャーシートやアウトドアチェア、日よけグッズと案内いただきました。それにしても、どういう格好で行ったらいいのやら。一応結婚式だし、でも、この案内で礼服を着ていったらどうなのかなあと思いながらお母様に伺うと、「そうなのよねえ。主人はシャツにチノパン」とおっしゃいます。新婦の父です。

普段から結婚を準備するカップルには、「結婚式で大切なことは、主と兄弟姉妹の前での誓約、あとはすべてオプション。好きにやってください」と申し上げているのですがさすがに思い切った結婚式だなあと思いました。冠婚葬祭は簡素にカジュアルになってきました。そして、式自体をしない人もでてきました。そう言っておきながら、自らの固定概念を打ち破ることは、なかなか難しいのが私たちです。あらためて、大切にすべきことと、そうでないことを見分けることの必要を教えていただきました。

コロナで何もかもが簡素になっています。というか、できなくなっています。形式的にしていたことには意味がないと誰もが悟って私たちの生活は変わっていくでしょう。その中でこれまで当たり前にしてきたことがすべて再吟味が加えられています。ソロモンが主に願い出た知恵のように、私たちも、ことを見分ける目をくださいと日々祈りつつ歩みたいと思います。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●10/19 (月) エレミヤ25：1-14

主が与えていたお約束(5-6)にも関わらず、民は主のことばに聞き従わなかった。それがゆえの裁きです。私たちに起こっていることを主の視点で考えると、聞くべきメッセージはどんなことでしょうか。

### ●10/20 (火) エレミヤ25：15-38

世界大に繰り広げられるわざを主は治めておられ、ご自身のご目的のために用いられることがここで語られています。今の時代、世界に起こっている出来事の中から、聞き取るべきことはないでしょうか。

### ●10/21 (水) エレミヤ26章

エレミヤはいのちをかけて神のことばを預言しました。その中で預言者ウリヤは殉教します。一方、エレミヤにつき、彼を助ける人たちが起こされます。誠実に正しいことを行いながら、誤解や反対を受けるとき、主がどのようにあなたを扱ってくださるか覚えましょう。

### ●10/22 (木) エレミヤ27章

ユダばかりではなく、エドム、モアブ、アモン、ツロ、シドンまでもがバビロンに引かれていくことをエレミヤは預言します。いわば降伏しなければ、滅ぼされるという預言です。試練と苦しみを通して主が悟らせようというご計画があったのです。あなたにとって苦しみや試練は主の御手にあつて、どのようなご計画なのかを考えてみましょう。

### ●10/23 (金) エレミヤ28章

偽預言者ハナヌヤはエレミヤに対抗しますが、主が滅ぼされました。よいことばかりが主から出るのではなく、むしろ人にとってはよからぬことも主のご計画のうちにあることと受け止めるべきことをあなたはどのように考えますか。

### ●10/24 (土) エレミヤ29：1-14

捕囚の民の回復の約束がここに与えられます。私たちに与えられている回復の約束はどのようなものでしょうか。

### ●10/25 (日) エレミヤ29：15-32

偽預言者を主がさばかれることについて書かれています。あなたは偽りゆえに心を痛めていることがありますか。それを主はどうなさると信じることができるでしょうか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会(聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

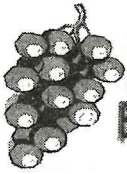
P39-40 古河東キリスト、栗橋キリスト、西上尾福音



## 今週のみことば

マルコ16:19-20

主イエスは彼らに語った後、天に上げられ、神の右の座に着かれた。弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた。



日本福音キリスト教会連合

宗教法人

甲府キリスト福音教会

# 週報

Vol. 66 No. 41 2020/10/11

- 牧師 松村 識
- 山梨県甲府市武田3-17-4
- TEL/FAX 055-253-4560 ●郵便振替 00400-8-4105
- http://kofu.church.jp ●e-mail kofucgc@ybb.ne.jp



あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。

1コリント12:27

## ■礼拝順序

司会者 松村牧師  
 奏楽者 渡邊周美姉  
 礼拝当番 (下) 黒田創兄  
 音響・録音 渡邊羊子姉

前奏		
招詞	ヨハネ4:23-24	新 p.183
*讃美	教会福音讃美歌158番	
*交読	詩篇65篇	旧 p.996
*信仰告白	教会信仰告白 第4条	
祈り		松村 識師
聖書	マルコ16:15-18	新 p.105
黙想		
宣教	「すべての人に福音を」	松村 識師
*讃美	教会福音讃美歌 479番	
感謝		黒田創兄
献金	教会福音讃美歌 453 (1-3) 番	
報告		
*頌栄	教会福音讃美歌 268番	
*祝祷		松村 識師
*後奏		

祈祷会 (会堂・zoom)

\*印はご起立願います。体のご不自由な方はそのままどうぞ。

## ●報告・价り

- 1. 本日も分散礼拝を行いました。ネットでの礼拝参加など、しばらく続きますが、一つ交わりであることを覚えましょう。自宅での礼拝をなさった兄姉は確認のためメールまたはLINEなどでお知らせ下さい。
- 2. 本日は礼拝後、会堂、zoomに別れて祈祷会を行います。参加くださり互いに祈り合いましょう。
- 3. 次週18日(日)16:00より、教会連合の全国青年大会DAWN2021のプレ大会がオンラインで行われます。40歳未満の方は既婚・未婚などを問わず誰でも参加できますので、ぜひご参加ください。youtubeの接続先は改めて連絡いたします。松村牧師も講師とし奉仕します。
- 4. 今週17日(土)、細田なつ子姉は片山尚哉兄と結婚して新しい歩みを始めます。式はフルーツパークで行われます。祝福を祈りましょう。

## ●次週礼拝予定

聖書箇所マルコ16:18-19、宣教題「主とともに働く」、交読文詩篇66篇、讚美310、-, 462、献金 453 (1-3)、頌栄 268

## ●奉仕案内 (主日奉仕は次週のもので)

礼拝司会者	松村牧師
礼拝当番上	宮田良子姉
下	-
掃除当番	五味操姉 渡邊園子姉
水曜聖研	松村牧師 イザヤ46章
奏楽者	志村泉兄
証し	-
週報印刷	渡邊頌平兄
食事当番	-
看板当番	坂野喜好子姉
生花当番	鉢植え
音響・スライド	金光正兄
スライド作成	高本樹兄

## ●今週/今後の予定

- 10/12 (月)  
全国運営委員会
- 10/15 (木)  
新型コロナウイルス感染対策窓口
- 10/18 (日)  
全国青年大会DAWNプレ大会
- 10/25 (日)  
大泉聖書教会修養会(牧師)  
小川真師宣教(リモート) 早天休止

## ●先週の集会

	早天	主日	夕拝	小人	祈祷会	
男	1	12	-	3	3	-
女	5	13	-	3	2	-
合計	6	25	0	6	5	0
CS	5					
その他	主日礼拝は会堂男13、女13 (IF:2, 4)、CSは、zoom、ライブ配信接続 18					

## ● 頑なな心の私たち

～先週の宣教要旨～

マルコ16:12-14

イエス様に会った二人の弟子たち、これは、よく知られていたエマオへの途上の出来事でしょう。ルカの福音書には詳細が記録されています。彼らはエルサレムへ戻ってイエス様の復活を他の弟子たちに知らせたのですが、「彼らはその話を信じなかった」(13)のです。マグダラのマリヤの証言とともに繰り返されているのは、人知を超えた復活というみわざと信じることができない人の頑なな心です。

イエス様は弟子たちに十字架とよみがえりを教えていました。それはペテロがピリポ・カイサリアで「あなたはキリストです」という信仰告白をした後からです。そのとき、イエス様をいさめたペテロには「下がれ、サタン」という強烈な叱責をします。忘れることができない記憶にとどまったはずです。その後も何回となくイエス様は教え、弟子たちはその意味について論じ合っています。ところが、復活の証言を聞いたとき、「これがイエス様がお話しになっていたことか!」とは思わなかったのです。

イエス様が十一人の弟子たちに姿を顕されたとき、不信仰と頑なな心をお責めになりました。その代表はトマスでしょう。イエス様が彼に告げたのは「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」このことばに自らの不信仰を責めたことでしょう。あるいはペテロ。「あなたは私を愛するか。」三度の問いかけに彼は心を痛めました。それにふさわしからざるものであることを重々思い知ったからです。

十字架と復活の予告に続いてイエス様が語られたのは「だれでもわたしに従って来なければ、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。」(8:34)ということばです。自らの欲、野心、プライド、そのようなものをすべて捨て、罪の自覚、そしてその十字架を受け、よみがえったイエス様の招きに従おうではありませんか。

## ● コロナを巡る温度差

～今週の声～

GO TO トラベル、GO TO イートと次々にコロナ対策の施策が出てきました。感染拡大防止よりも、経済活動の停滞を打破したいという施策です。秋の行楽シーズン、休日にはここ山梨にも大勢の観光客がやってきます。あるいは場所によっては普段の賑わいが戻っているような場所も見聞きます。

一方で感染の勢いは止まってはいません。これから冬にかけては再び第三波という懸念を拭うこともできませんし、インフルエンザの流行が重なったときに、医療体制は大丈夫なのかというのが今の状況です。半年以上もこの状況が続き、まだまだ先が見えない中、その向き合い方についても人によって様々です。

三月の初め、コロナが始まった時に、皆さんに申し上げたことを覚えておられるでしょうか。「ウイルスに関する受け止め方の感覚というのは人それぞれ、また、その人の置かれている場もまた、それぞれ。それを責めたり、批判したりしないでいただきたい。」その通りにしてくださっていることを心から感謝します。

方々の教会の対応を伺うと、これまた千差万別です。もうすでに普段通りの集会をし、愛餐の交わりもしているところもあれば、未だオンラインのみで慎重に礼拝を保っている教会もあります。一概にどれが正解などということとは言えません。

食べる人は食べない人を見下してはいけなし、食べない人も食べる人をさばいてはいけません。神がその人を受け入れてくださったのです。(ローマ14:3)

これは初代教会の交わりの問題でした。食べる食べないから始まって、ユダヤ人と異邦人の違いが浮き彫りに出るような状況があったわけです。ここらへんでもう一度、この原則を確認しておきたいと思います。まだまだ続く状況、互いを思いやり、主にあって尊重し、支え合う交わりを続けましょう。

## ●聖書日課～みことばの光質問より～

### ●10/12 (月) エレミヤ20章

エレミヤは捕らえられ、足かせにつながれます。彼はその苦悩を語りました。主を信じるがゆえの苦しみに遭うとき、私たちはどのように祈るべきかを彼の祈りのうちに学びましょう。

### ●10/13 (火) エレミヤ21章

バビロンのネブカデネザルに責め立てられて、ゼデキヤ王はエレミヤに主のみこころを求めます。エレミヤを通して主は二つの道を語ります。自分に都合の悪いことであっても、語られることばに従うべきことはないでしょうか。

### ●10/14 (水) エレミヤ22：1-12

主が求めておられることは、3節のことです。一方でこのことばに聞かなければという厳しい問いかけがあります。あなたが今、なすべきと問われることはどんなことでしょうか。

### ●10/15 (木) エレミヤ22：13-30

自分のことしか考えられない人たちに向けたことばの厳しさが続きます。主は王エコヌヤを名指して糾弾します。あなたが問われたら、どうでしょうか。

### ●10/16 (金) エレミヤ23：1-24

やがての回復の福音が語られるとともに、預言者たちに対する叱責のことばが続きます。ここにはどのように主の声を、みこころを聞くべきかについて語られています。主のみこころはどのように聞くべきでしょうか。

### ●10/17 (土) エレミヤ23：25-40

私たちが主のみこころを確認すべくなすべきことは、「主は何と答えられたか。主は何と語られたか」と互いの交わりの中で確認し合うことの大切さが教えられています。私たちが教会の交わりにおいて大切にすべきことは何でしょうか。

### ●10/18 (日) エレミヤ24章

いちじくのたとえをして、主が語ろうとされたことはなんでしょうか。また、よいいちじくに例えられたものは、何故によいものとされるのでしょうか。

## ●定期集会案内

日曜日	
教会学校	9:00
早天礼拝	7:00
主日礼拝	10:30
水曜日	
第一祈り会	10:00
第二祈り会	19:30
土曜日	
マナの会 (聖書通読会)	10:00

## ●礼拝ガイド

・主日と礼拝を主に献げましょう。主日を献げることは一週間のすべてを献げて整えることです。

・礼拝は前奏から始まります。5分前には着席し、心を備え整えて礼拝を始めましょう。

・献金は神への感謝・献身のしるしです。あらかじめ用意をして備えましょう。ご用意のない方、わからない方はそのまま献金箱を次の方にお回しください。

## ●今週の祈り

P37-38 自治医大前キリスト、勇気福音キリスト、筑西キリスト、明野キリスト



## 今週のみことば

それから、イエスは彼らに言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。

マルコ 16:15